

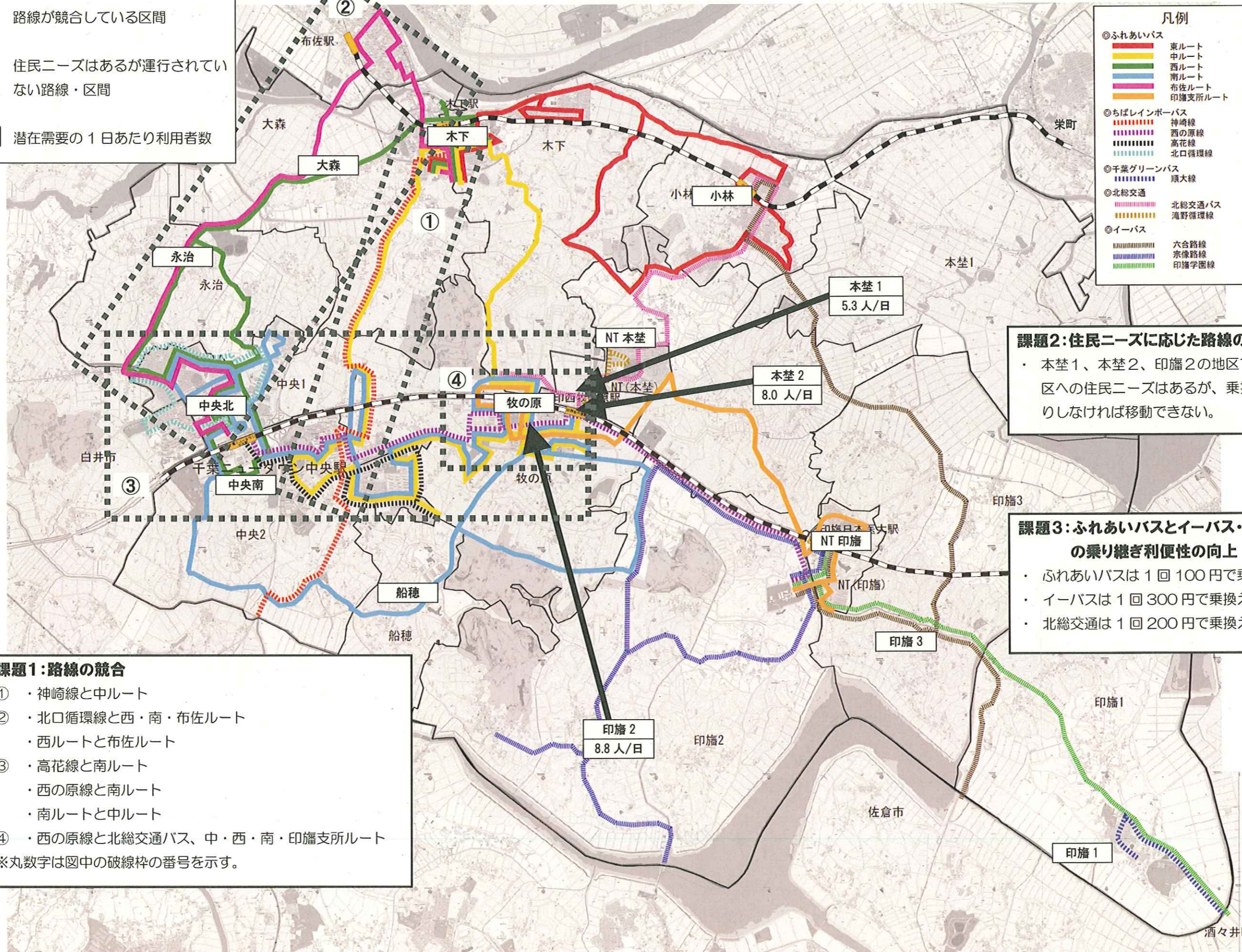
市内バス路線網の現状認識

【凡例】

- 路線が競合している区間
- 住民ニーズはあるが運行されていない路線・区間
- 人/日 潜在需要の1日あたり利用者数

凡例

- ふれあいバス
 - 東ルート
 - 中ルート
 - 西ルート
 - 南ルート
 - 布佐ルート
 - 印旛支所ルート
- ちばレインボーバス
 - 神崎線
 - 西の原線
 - 高花線
 - 北口循環線
- 千葉グリーンバス
 - 順大線
- 北総交通
 - 北総交通バス
 - 滝野循環線
- イーバス
 - 六合路線
 - 赤塚路線
 - 印旛学園線



課題1: 路線の競合

- 神崎線と中ルート
- 北口循環線と西・南・布佐ルート
西ルートと布佐ルート
- 高花線と南ルート
西の原線と南ルート
南ルートと中ルート
- 西の原線と北総交通バス、中・西・南・印旛支所ルート

※丸数字は図中の破線枠の番号を示す。

課題2: 住民ニーズに応じた路線の不足

- 本埜1、本埜2、印旛2の地区では、牧の原地区への住民ニーズはあるが、乗換えを行い遠回りしなければ移動できない。

課題3: ふれあいバスとイーバス・北総交通バスの乗り継ぎ利便性の向上

- ふれあいバスは1回100円で乗換え無料
- イーバスは1回300円で乗換えサービスなし
- 北総交通は1回200円で乗換えサービスなし

印旛2
8.8人/日

本埜2
8.0人/日

本埜1
5.3人/日